



2021年度
スポーツビジネス学科
卒業生の皆様へ

2021年度
スポーツビジネス学科
教員一同

スポーツビジネス学科を卒業する皆さんへ

当初は中止も想定された学位記授与式ですが、簡素化されたコンパクトな内容ながらも、何とか開催にこぎつけることが出来ました。

スポーツビジネス学科の教員は、皆さんが元気に卒業され、4月からの希望に満ちた新しい一步を無事に踏みだされることを心から祈っております。

そしてここに学科教員からのメッセージをお届け致します。これから先の長い人生において、壁にぶつかったとき目を通してください。微力ながらお力になれるかもしれません。



2022年3月

札幌国際大学 スポーツ人間学部
スポーツビジネス学科 教員一同

学科長

佐久間 章



卒業おめでとう！ ～社会人としてのスタートに向けて～

卒業おめでとう。4年間の学びをふりかえり、4月からの新しい生活へ、心も身体もしっかりと準備してください。

いよいよ4月1日からは社会人です。学生時代とは違って、自分一人で解決しなければならない問題にも多々直面することとします。考え悩み、困ったらいつでも大学に顔を出してください。解決策の提示やアドバイスは、できないかもしれませんが、しっかりと愚痴を聞いてあげますので、気軽にお立ち寄りください。

卒業にあたり、私のこれまでの職業人生において、失敗や経験から学んだ教訓（アドバイス）を贈ります・・・・・・・・。

参考にしていただければ幸いです。

- 相談できる良き先輩を見つけよ。
 - 言い訳をするくらいなら、即座に謝れ。
 - 「うそ」は「うそ」でしかごまかせない。いつも見ている。見られている。
 - 公私の区別は厳格に（お金など・・・）。
 - プライベートを職場に持ち込むな。
 - 常に、自分の意見を持つ。「新人だから」は絶対に禁句。
 - チームワークなくして、良い仕事はできない。
 - 健康なくして、良い仕事はできない。健康管理に留意せよ。
 - 常に「ハウ・レン・ソウ」を怠るな。
 - 「良いこと」の報告は後でも良いが、「悪いこと」は一刻も早く上司に報告せよ。
 - 「酒」と「車」と「女(男)」で信用を失うな。
 - 仕事に前例踏襲はない。社会は動いている。
 - 自分の仕事よりも、頼まれた仕事やチームの仕事を優先せよ。
 - お世話になった（なっている）方々への感謝を忘れるな。
- 社会人として成長させてもらう「上司」「同僚・友人」に！
これまでお世話になったすべての方々に！　そして、家族に・・・。

“志は高く、腰は低く” 常に謙虚であれ。“実るほど頭を垂れる稲穂かな”

とりあえず、4月に出社したら、元気に挨拶すること。
可能性を秘めた君たちの未来に幸あることを祈念いたします。
がんばれ、スポビ卒業生、新社会人！

原一将



努力しても結果は 出ないかもしれない。 しかし結果を出している人間は必ず努力をしている。

このメッセージを書いているのは2月下旬、北京オリンピックも無事閉会しました。

不可解なルールや予期せぬ転倒など、栄光の陰で様々なドラマが繰り広げられました。

ここでは誌面を借りて羽生結弦選手（27歳）を取り上げ、ラストメッセージにしたいと思います。

惜しくも彼はメダルを獲得できませんでしたが、果敢に4回転半のジャンプに挑みました。

当日の朝、痛み止めの注射を打っていたことも演技後に判明しましたが、そのことを演技前には言いませんでした。

氷に引っかかってしまった不運もありましたが、むしろ氷を作ってくれた方に申し訳なかったと感謝の意を表していました。

金メダルを取ったネイサン・チェン選手を称え、自身の挑戦についても「自分が特別ではなく、誰もが生活のなかで何かに挑戦している。自分の場合はそれが4A（4回転アクセル）だったり、オリンピックだったりしただけ」とコメントしていました。

メダル獲得が結果の全てであれば、彼は結果を出せませんでした。しかし人生には誰にでもここ一番で、挑戦しなければならない場面があるのです。

皆さん、自分の胸に手を当てて考えてみてください。皆さんは何かに挑戦してきましたか？「どうせやっても・・・」「面倒くさいし・・・」そうやって挑戦から逃げ回ってきませんでしたか？

私も自分の人生を振り返ると「まず最初に言い訳」から物事を始めることが数多くありました。上手くいかなかったときの布石であり、できない言い訳、できなかった言い訳を最初から考えておくというやつです。本当に最低の人間でした。

だからこそ私は、挑戦した学生に対し、たとえ結果が出なくても叱責したことはなかったはずです。トライの結果はほとんどがエラーであることを経験則で知っているからであり、失敗を責めるだけの人間にはなりたくないと思っていたからです。

社会に出るとこれまでのように至れり尽くせりではありません。全くの別世界です。そこには両親も教員もいません。教務課も学生課もありません。全て自分でやらなければならないのです。

「知らなかった」は「知ろうとしなかった」、「教えてくれなかった」は「教わろうとしなかった」、「わからないこと」は自分で調べるか、自分から聞きにいかないと、永久に「わからないまま」です。そして自己責任という言葉と背中合わせの毎日になります。

世の中を変えるのは「若者、馬鹿者、よそ者」と言われています。嘘かホントかわかりませんが、皆さんにそれを立証していただければ、これに勝る幸せはありません。

皆さんの人生がいつも「晴れ」
でありますように・・・

赤川智保

2年前、2000年の春、あなたたちが大学3年になってすぐ、世界中に蔓延したコロナ禍。

日本で、そして世界で、たくさんの命が奪われ、日々の暮らしの常識も一変し、誰もが大混乱し、途方に暮れる日々。

大学も全てが変わらざるを得なくなって、遠隔授業というこれまでにない試みをしなければならなくなりました。

その初めての遠隔授業の日、それでもモニターいっぱいに映し出された、対面で見慣れていたはずのみんなの元気な姿に、思わず涙が込み上げてきたのを忘れません。

慣れないパソコンや機器の操作にあたふたするばかりだった私は、機転を利かせてあれこれアドバイスしてくれるみんなに何度も助けてもらって、困難なコロナ禍での大学の日々を、なんとか乗り切ることができたように思っています。

あれこれさまざまな規制がかり、またそれさえも状況に応じて変わってゆく、うとうとしくも面倒な日々の中、それでも与えられた状況に素直に、柔軟に工夫しながら、対応してゆこうとするみんなの姿は、たくましく、頼もしく感じました。

また、そんな状況の下でも、自分たちのできることを果敢に企画し、協力しあって実行しながら、大学生としての有意義な時間をせいっぱい重ねようとしている姿に、教員であるはずの私は、いつも逆に励まされてきたように感じています。

そんなみんなへ、たくさんの感謝を込めて、

「ありがとう。そして、卒業、おめでとう！」

何か困ったこと、行き詰まったとき、ステキな報告があるとき、いつでも会いに来てください。

卒業はしても、大学はいつでもその扉を開いていますから。



赤川智保モダンバレエスタジオ アトリエコンサート2021

「Alice Reloaded～二つの国のアリスより～」

ふしぎの森へ迷い込んだSSアリスと絶滅したはずの幻の狼・ホル

2021年12月19日 教育文化会館小ホール

Benefits of failure

～失敗から得るもの～

スポーツビジネス学科4年生の皆さん
ご卒業おめでとうございます。

4年間を振り返ると、色々な想いが込み上げてくるのではないのでしょうか。

皆さんにとっての大学は、様々なことを学び、体験し、数多くのチャレンジをしてきた掛け替えのない場所になったのではないかと思います。

そしてこれは、大学生としての皆さんへ送る最後の言葉となります。

ご存知、ハリポッターシリーズの作者であるJKローリング氏(英国)のハーバード大学Commencement Address(卒業スピーチ)の言葉を紹介しながらメッセージをお送りします。

ローリング氏は、ハリポッターシリーズの著作が世に知られるまで、大変貧しい生活を送り、病気で母親をなくし、長い間仕事がなく、シングルマザーとして奮闘、などなど様々な苦難を経験してきた経歴を持つ人物でもあります。

そんなローリング氏のスピーチの中で印象に残ったのは「benefits of failure (失敗の利点)」という言葉です。

スピーチの中で自らの逆境に触れ、しかし、そんな状況にあったからこそ、作家としての今の自分があるとも話しています。

失敗の利点は、自分にとって不必要なものを剥ぎ取ってくれることです。失敗は、自分にとって最も重要なことが何かを教えてくれます。そして、それに向かって力を捧げることができるのです。もし他の何かで成功していたら、今の私はなかったでしょう。

人生において失敗を避けて避けることはできません。失敗をしたくなければ、あらゆることに慎重になりながら生きていくことです。でも、そんな人生が成功と言えるでしょうか。

失敗があったからこそ様々なことを学ぶことができました。

さらに、自らの大学時代を振り返りながら卒業生へ向けたスピーチは以下のように続きます。

大学生活を通して得た仲間は何よりも価値があり、多くの困難を切り抜けてきた経験は生き抜く力を持った証です。そして何より、逆境を経験せずして自らの本当の強さ、そして仲間の大切さに気づくことはできなかったでしょう。苦難を通して得た知識こそが真のギフトです。どんな資格よりも価値のあるものです。

人生は積み重ねた業績を記録するチェックリストではありません。履歴書に書かれた実績があなたの全てということもありません。人生はそんなもので測れるほど単純ではありません。人生は知っているよりも難しく、複雑で、誰にもコントロールできるものではありません。しかし、それを知り、適応していくことが、変化し続ける世の中を生き抜いて行く方法でもあるのです。

いかがでしょうか。

4年間の大学生活を経て、皆さんは大事なことは何か(What)を学びました。これからはそれを、社会でどう活かすのか(How)を考えていかなければなりません。数えきれないほどのトライ&エラーが必要です。徹底とない失敗に直面することでしょう。

卒業式という「終わり」のイメージを受けますが(私だけでしょうか?)、米国ではCommencement、つまり「始まり」を意味します。そう、本当の学びはこれから始まるのです。

あなたの失敗の先にある皆さんの成功を祈っています。

栗野祐弥



いつも自分が好きであれ、
いつまでも夢は追い求めよう！

田邊龍彦



卒業、おめでとうございます。私は皆さんとは1.2年生でコンピュータ関係の授業で会いました。私たち教員は皆さんに生活は礼儀正しく過ごせ、学習は予習・復習をすれと言ひ、一生勉強だと言ってきました。皆さんが卒業するので私の大学時代の一端を見せます。皆さんの大学生活は田邊先生よりはまともだったと思うでしょう。

この写真は私が大学時代に所属していたH大学応援団です。高校は道内の上位進学校である札幌K高出身です。H大にはクラスから10名近く入学します。私が応援団に入ったのを知った元クラスメイトは「田邊は頭がおかしくなった」と言われたものです。皆さんが気を付けるように言われてきた酒はどんぶりで一気飲み、応援団同士の飲み会では宴会の鍋を空にして日本酒を入れ、両応援団で一気飲み干すまでの競争を10組くらい行います。鍋酒は日本酒5合なので一升瓶の半分を一気飲み干します。卒業後社会に出ても飲み方が変わらず、後輩二人が朝起きてこなかった。とか、酔って航空機ヘタラップを上がって搭乗しようとしてCAに搭乗拒否されたとかありました。皆さんアルコールには注意しましょう。母親からは近所に恥ずかしいからあの格好では出かけてくれと言われ、乗ったバスでは子供から指さし大笑いされました。普段着も応援や演武用の白扇をジーンズのベルトに挟み、高下駄（ゲゲゲの鬼太郎が履いている下駄）を履き、カランコロンと音をたてながら歩いていました。この私の大学生活からみると皆さんの大学生活は余程まともです。自信を持ってください。何よりいつも自分を好きであってください。

次にやりたい夢があるなら、いつまでも追い求めて下さい。私がやりたいことを実現するためにやっていることを教えます。本当に自分がやりたいことは人に自信をもって、これがやりたいと言ひ続けます。それを夢がかなうまで100人まで言ひ決めていきます。つまり100人に言うまでは諦めない。大体10人くらいに言ひ、あいつはバカだ、頭がおかしいとも言ひれます。でも、一人でも夢の実現に協力、支援してくれる人が現れたら良いと割り切つて下さい。誰か支援してくれ夢が正夢になったら最高です。この方法で悪い返すと自分が夢見ただことはやってきた気がします。

最後に皆さんの卒業後のご活躍をきいて、フレイフレイ国際大 スポビ卒業生！

卒業生へ贈る言葉

田部井祐介



ご卒業おめでとうございます。

これから社会人になる皆さんに私から

- ・「ハングリー精神を持ち続けること」
- ・「分かれ道に遭遇したら困難な道を選ぶこと」

いうメッセージを贈ります。この2つのメッセージには共通するものがあります。

1つ目のメッセージですが、「Stay hungry, Stay foolish」という言葉を聞いたことがあるのではないのでしょうか。これは、米国アップル社を創設したスティーブ・ジョブズが2005年にスタンフォード大学の卒業式で卒業生に送った言葉です。直訳すれば「ハングリーであれ、愚かであり続けろ」といった意味になります。「Stay hungry」は、自分の現状に満足せず高い目標を掲げて努力を続けるといった気持ちを意味します。皆さんは、現状に満足し、安易な方向に流されていませんか。

2つ目のメッセージですが、これから皆さんは日常生活や仕事をする中で、いくつもの分かれ道に遭遇することになるでしょう。その際は、より困難な道を選んでください。この「困難」とは自分の苦手なものではなく、挑戦することを指します。つまり、困難な道にみえても、その先に自分が求めているものがあるなら、その道を選ぶことを意味します。自分が行きたいと心の中で思った道を選ぶこと、見つからなければ、探し続ける、手を付けてみる、そして自ら考え行動することで今と違った結果が得られる可能性が高まります。

さて、私からの2つのメッセージに共通するものを皆さんは見つけることができたでしょうか。．．皆さんのこれからの活躍を大いに期待しています。

“Twenty years from now, you will be more disappointed by the things that you didn’t do than by the ones you did do, so throw off the bowlines, sail away from safe harbor, catch the trade winds in your sails. Explore, Dream, Discover.”

「今から20年後、あなたはやったことよりもやらなかったことに失望する。ゆえに、もやいを解き放ち、安全な港から船を出し、貿易風を帆にとらえよ。探検し、夢を見、発見せよ。」
by Mark Twain (マーク・トウェイン)

学ぶことをやめたら、教えることを やめなければならない。

ご卒業おめでとうございます。

みなさん、大学4年間いかがでしたか？これで小学校から大学までの教育過程の16年間が終わりました。長いようで短い16年だったかも知れません。

4月からはいよいよ社会人として活動して行くことになります。教育過程で学んだ16年は人生のたった20%しかありません。これからは社会に出て実践を行い、そしてさらにまだまだ学ぶ事も必要になります。

社会に出て自分は知らない、わからないでは通用しません。知らない、わからなかったらまずは自分で学び知識を習得する必要があります。知識・経験がないと応用や判断はできません。

元フランスサッカー代表監督のロジェ・ルメールは指導者として「学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならない。」との名言を残しています、スポーツ指導者の間ではこの言葉をまず先に考えさせられます。

これからみなさんが経験する社会では様々な事が起きてきます。自分のこと、企業のこと、商品や取引先、お客様、地域の経済、日本の経済、世界の経済、人脈作り、お金のことなど想像も出来ないほど色々な事が起きてきます。その時に自分が判断する事になります。

その判断とは責任です。自身が判断する決意の為に色々な事を学ぶ、それをやめたら社会では通用しません。

社会に出てもやはり学ぶ事が重要です。いろいろな知識を習得しさらに実践で経験を積みそれを自分なりに表現し社会に貢献する、その積み重ねがこの先の人生40%です。

人のため、地域のため、会社のために何が出来るか挑戦してください、それが最後には自分に帰ってきます。

「学ぶ」事を忘れずに常に学び続けるそれが社会でもあり人生でもあります。新しい扉を開けチャレンジを続け、良い人生を築き上げて下さい。



斗澤元希

一生懸命なことに満足するな

横山克人

4年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

さて、4月からは、新天地での新生活が待っていますが、入社初日を迎えるまでは、期待と不安が心の中に共存しているかと思います。複雑な気持ちさえ、社会に出る前の想い出として大切にしてください。そんな心境の皆さんに向けて、社会人の先輩として、私の心に刺さった言葉と想いを送ります。

『一生懸命なことに満足するな』

この言葉は、前職の上司からの言葉です。

当時も今も、一生懸命に仕事や物事に取り組んでいます。そのスタンス（姿勢）は今も、これからも大事にしたいと思っています。しかし、一生懸命という言葉に溺れてはいけません…。

当時の私は、朝5:00に家を出て、夜23:00頃に家に帰るという生活サイクルでした。授業準備、上司のサポート、ハンドボールの指導、授業、論文執筆、…何かに追われる日々でした。毎日、私が考えていたことは、とにかくミスをしないうように、叱責されないように、目の前のことに一生懸命取り組むことだけでした。

そんなある日、仕事の優先順位を間違えて「一生懸命に満足するなよ」と上司から指摘（叱責？怒号？に近い）を受けました。当時は、「一生懸命で何が悪い！」とか「別に一生懸命やっている自分に満足なんかしていないし！」とか「そもそも、あなたの仕事をサポートしているんですけど…」など、反発的な感情を抱いた記憶があります。

その時から年月が経ちましたが、上司から指摘された本質を少し理解することができるようになりました。今、思い返すと、無意識のうちに一生懸命なことに満足していたなと感じます。

「一生懸命、ミスをしないうにやる」

「一生懸命、怒られないようにやる」

「言われたことだけ一生懸命やる」

「自分の基準で一生懸命やる」

一生懸命は「誰のために」、「何のために」、「それ以上は？」、「基準は？」、自己満足はしていないつもりでしたが…こんな言葉が隠れていました。

自分のために「一生懸命、ミスをしないうにやる」

自分を守るために「一生懸命、怒られないようにやる」

自分の都合に合わせて「言われたことだけ一生懸命やる」

自分だけが、自分の方が忙しいから「自分の基準で一生懸命やる」

つまり、当時の私は、**結果的に自分の身を守ることに一生懸命になり、一生懸命という綺麗な言葉に溺れてしまい、自己満足になっていました。**

皆さんは、一生懸命に溺れないでください。自己満足しないでください。会社のために、顧客のために、仲間のために、相手の一生懸命の基準に合わせてやるように心掛けてください。きっと、一生懸命の評価は、周りからしてくれます。





濱田剛一

新社会人への贈る言葉『最後の講義』

卒業おめでとうございます。

コロナで大変な状況下、大学4年間の締めくくりを見事に成し遂げたことは素晴らしいことです。本メッセージでは社会人の先輩としての贈る言葉を認めさせてもらいます。

社会に出て組織に入ると、右か左か選択を迫られることが多くなります。

「長いモノに巻かれる。」「みんなで渡れば怖くない。」的な判断から自分の決断をしてはいけません。そういう決断の場面に臨んだ際は、自分の意見をしっかり持つ様に訓練を積んでください。

どうしても、判断がつかない場合は少数派の選択肢を選ぶとよいでしょう。

多数派の選択肢が組織で採択されたら、その結果と問題点を観察してください。そうすると分からなかった少数派を選択理由が明確になります。これが訓練です。

10人のメンバーが多数決で決定する場合、8人以上が賛成した案件は国・自治体の仕事になります。（税金で賄う場合は当然の判断です。）

過半数の6人が賛成した案件は大企業の仕事になります。（大企業はあまりリスクをとらないものです。）

そして4人以下のメンバーが賛成した案件から社会の発展に寄与するイノベーションが起こるものです。

このことは、経済学で言う「合成の誤謬」の側面も持っています。これは「個々人で正しいと思って行動しても、社会全体では正しい結果にならない事もある。」と言うことです。

例えば、皆さんは「無駄遣いせずに貯金しなさい。」と叱られたことはありませんか？個々人にとって貯金はとても良いことで、推奨されることです。

しかし社会の人全員が貯金に走ると消費が低迷してしまいます。そうすると需要が縮小し景気が悪化し企業の業績が低迷し最悪は倒産してしまいます。そして雇用が縮小したり、労働者の収入が減ってしまいます。これでは、社会全体にとっては好ましくない結果となります。

さてここからが皆さんへのお願いです。どうか「少数意見を大事にする社会人」になってください。一見正しそうなことでも全体を考えて「自分で判断できる社会人」になってください。

さあ、これからが本当の勉強の始まりです。



See you!